

《担当者名》明野 伸次 [akeno@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

看護実践における課題、看護技術研究の現状から今後の看護技術研究のあり方までを模索し、関心ある看護実践の事象を探究する。

【学修目標】

1. 関連文献のクリティークを通じて、看護実践における課題や看護技術研究のあり方を明確にする。
2. 看護実践における課題や看護技術研究のあり方を明確にするための方策を探究する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 5	1. 看護実践に関する文献検討	看護実践に関連する国内外の文献をクリティークし課題を明確にする。	明野
6) 10	2. 関心のある看護実践の検証・開発に向けた課題解決方法の検討1	看護実践の検証・開発のために用いる概念、理論を検討する。	明野
11) 15	3. 関心のある看護実践の検証・開発に向けた課題解決方法の検討2	看護実践の検証・開発のために用いるアウトカムや尺度を検討する。	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、準備・参加状況（30%）、レポート（40%）

【備考】

教科書：特に指定しない。

参考書：随時、提示する。

【学修の準備】

関連する文献を熟読しプレゼンテーション資料としてまとめる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。